

# 中泊町MAP



# 津軽中里駅周辺 まち歩きマップ

**①中泊町博物館** ▶徒歩15分

奥津軽の原始から近現代までの歴史をコンパクトで紹介。津軽森林鉄道ディーゼル機関車ほか、縄文土器バスル・自転車タイムマシン・日本海交易ゲームなどの体験型展示が充実しており、五感を通して奥津軽の歴史を学習できます。

**②五林神社五輪塔及び宝篋印塔** ▶徒歩15分 (非公開)

五林神社の祭神は、鎌倉～室町時代に建立された五輪塔と宝篋印塔です。いずれも武士階級の墓標と考えられますが、五輪塔については、源義経の家来大寺守力の妻オリの供養碑とする伝承が残されています。

**③五林館跡** ▶徒歩7分

古代防衛集落・中世城館跡。現在は宅地化が進行し、一部畑地が残る程度ですが、同心円状に取り巻く数段の平場と空堀跡が認められます。

**⑥中里神明宮** ▶徒歩15分

天照大神を祀る伊勢神宮(内宮)分社。弘化4年(1847)加藤鷹制(代々郷土・金木組大庄屋を務めた加藤家8代加藤九八郎)ほか、現在の場所に復興しました。社殿内には、平尾魯仙・百川学庵など往事の名だたる絵師が描いた絵馬が複数奉納されています。



**④三界万霊供養塔** ▶徒歩3分

飢饉で亡くなった人々の供養碑。飢饉時に一命を賭して直訴し、処刑された清十郎なる人物の伝承にちなんで「清十郎地蔵」と称されています。

**⑦忠魂碑** ▶徒歩15分

日清・日露戦争、太平洋戦争時の戦没者の供養碑。碑裏には、氏名・階級・歿年・歿場所が刻まれています。

**⑧他山工藤先生宅址碑** ▶徒歩15分

工藤他山は、文政元年(1818)弘前生まれの教育者です。藩校稽古館助教を経て、嘉永5年(1852)中里村に寺子屋を開き、以来文久3年(1863)まで11年間にわたって子弟を教授しました。宅址碑は、明治33年(1900)教え子の宮越要三郎・井沼益太郎らが、他山の次男の宮越と相談して建立したものです。

**⑨中里城跡史跡公園** ▶徒歩20分

平安時代の「防衛集落」を復元した史跡公園。竪穴建物跡・柵列跡・井戸跡・空堀跡・土塁跡などが復元整備されています。展望台からは、眼下に展開する中里の町並みはもちろ、津軽平野に浮かぶ岩木山や岩木川などが望見されます。平成15年(2003)には、保存状態が良好で、北奥地方における古代の様相を考えるうえで重要な遺跡であるとの事由から県史跡に指定されました。



**⑩「のれ!それ!中里」歌詞碑** ▶徒歩20分

シンガーソングライター河島英五自筆の歌詞碑(作詞寿田道留)。河島英五は、神明宮境内ほかで開催された「中里城址古代ロマンコンサート」に4回にわたって出演しました。



山あり谷あり 自然町歩き

## 中里満喫コース (約2km-60分)

津軽中里駅→(徒歩15分)→神明宮⑤⑥⑦→(徒歩5分)→中里城址公園⑧⑨→(見学15分)→(徒歩5分)→真勝寺→(徒歩10分)→商店街→(徒歩10分)→津軽中里駅→(駅ナカ 休憩・軽食)

古道散策 ぶらり歴史学習

## 歴史探訪コース (約2km-60分)

津軽中里駅→(徒歩7分)→五林館跡③→(徒歩5分)→五林神社②→(徒歩3分)→中泊博物館①→(見学30分)→(徒歩13分)→三界万霊供養塔④→(徒歩2分)→津軽中里駅→(駅ナカ 休憩・軽食)